

ファンドの価値観～Common Values(コモン バリューズ)～ 今日より良い明日を育む長期投資

今月のコモンズレター主な内容

P2 運用部長・糸島の「投資行動とパフォーマンス」で運用状況をチェック！

P3 コモンズ30ファンドのポートフォリオをチェック！

P5 メディアへの露出が増えています。「メディアに登場！」でコモンズのメディア情報をチェック！



コモンズのお仲間のみなさま、こんにちは。台風と共に夏が去り、クール・ビジネスともお別れ。爽快な秋空で紅葉を楽しむシーズンを迎えたと思ったら、商業施設は既にクリスマス・ムードへと一変しています。あっと言う間に一年が過ぎている感じがしますが、いかがお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。

時の流れは、特に振り返ると、早いです。長期投資を生活の一環として取り組んでいるからこそ、そのように感じるかもしれません。私自身の長期投資との出会いは、コモンズ投信を設立した七年前の2000年でした。新しいミレニアムを迎えた、その年に私たち夫婦は「家族」になりました。

生まれたての小さな赤ちゃんを抱き上げながら、私は「時間の旅」に出ました。この子が大人になったとき、それまで自分を囲んでいた垣根を超えることに挑戦している我が子を応援できる資金を蓄えるためにコツコツと積み立てる投資を始めたのです。

コモンズ投信のロゴは「親子」ですが、30の点で形成されていることにお気づきでしょうか。「30年」とは、



創業時の引っ越しの風景

渋澤と伊井の「今月の想い」

一世代間の象徴です。つまり、コモンズが掲げる「30年目線」とは、30年間のバイ・アンド・ホールドの投資ではありません。ましてや、30年後を正確に予測できる訳がない。しかし、世代間を超える長期投資を通じて、家庭持ち・独身の方々の未来を共に育てる壮大なファミリーを築きたいという想いが込められています。

2000年の赤ん坊は、早くもティーンエージャー。体つきは右肩上がり成長ですが、精神面では乱高下…(笑)。ただ、もちろん、いずれ、良識ある大人へと成長することを期待しています。長期投資と同じですね。

アベノミクスの三つ目の矢、アメリカの財政問題など、目前の不透明感が少なくありません。ただ、今後の市場や企業業績の乱高下を恐れる必要なく、未来を見据えて「進化」し続けられる企業にコモンズと共にコツコツと投資すれば、資産形成の持続的成長が期待できます！



コモンズ投信株式会社
取締役会長
渋澤 健

※隔月で伊井、渋澤が執筆いたします。

基準価額の推移



ファンドのデータ

(2013年10月31日付)

基準価額	18,092円
純資産総額	4,157百万円
受益権総口数	2,297百万口

※純資産総額のグラフは6ページ参照

基準価額（税引前分配金を再投資したものとして算出）の騰落率

(2013年10月31日付)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
-1.14%	4.89%	0.89%	52.56%	53.64%	86.70%

直近5期分の分配実績

第1期 (2010年1月18日)	第2期 (2011年1月18日)	第3期 (2012年1月18日)	第4期 (2013年1月18日)	
120円	130円	0円	200円	

運用部長・糸島の「投資行動とパフォーマンス」

◎10月の組入れ銘柄(組入れ銘柄数、新規買付銘柄・全売却銘柄の有無)

10月末の組入れ銘柄は30銘柄と、全く変化なしです。10月の新規買付銘柄はゼロ、全売却銘柄もゼロと変化はありません。「投資委員会(議長:CIO)」において、運用部(糸島・上野)は、新規買付・全売却候補の銘柄を3社提案しました。活発な議論となりましたが、継続審議となっています。具体的には、新規買付候補の1銘柄(先月と同じ銘柄)、全売却銘柄候補の新規2銘柄です。

◎10月のポートフォリオの構成比(株式組入比率)

10月末の株式組入比率は80.3%と前月末(9月末)79.6%とほぼ同じレベルを維持しています。残り約2割はキャッシュを持っています。9月中旬(18~20日、日経平均14700円前後)に、米国の不透明感等へ対応するため、悪影響を受けやすい銘柄などを一部売却。その状態を10月末時点で維持しています。

◎10月の組入上位10社と投資行動

新規にトップ10に入った銘柄は、「旭化成」、「SMC」、「日東電工」の3社です。圏外になった銘柄は、「ホンダ」、「信越化学」、「ローソン」の3社です。「SMC」は積極的に押し目を買い増しました。「日東電工」は株価急落後から少し買い増し、「ホンダ」を一部売却しています。

◎10月のファンド月間リターンと個別銘柄の騰落率

10月のファンド月間リターンは1.14%の下落となりました。当ファンドにはベンチマーク(比較指標)はありませんが、同月のTOPIXは0.01%上昇しています。ファンドの月間リターンがマイナスになったのは、「日東電工」、「カクテクコム」、「楽天」、「マキタ」、「コマツ」が10%以上の急落をしたためです。これらの保有比率は株価下落前に概ね下げていたものの、残念ながら悪影響を受けました。

◎運用・調査体制について

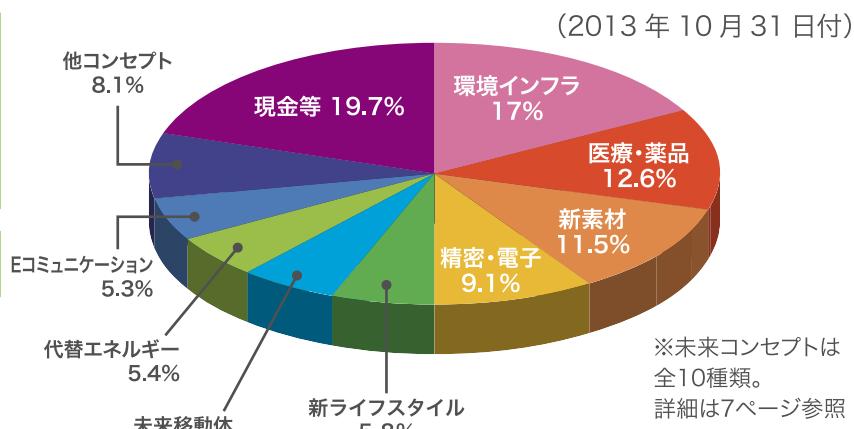
先月の月次報告書(コモンズレター)から、「投資委員会と運用部」の役割・関係、「投資先選びのプロセス(運用プロセス)」をより明確化させています。是非、7ページ目をご参照下さい。

運用部長・チーフポートフォリオマネジャー 糸島 孝俊

ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
株式	80.3%	+0.7%
現金等	19.7%	-0.7%
構成銘柄	30社	±0社

未来コンセプト別構成比



組入上位10社

(2013年10月31日付)

企業名 [コード]	未来コンセプト	概要
ユニ・チャーム [8113]	食・ヘルスケア	これまで培ってきたマーケティング力を生かし、新興国ではトイレタリーで、先進国ではペットケアでの成長を目指しています。経営の仕組み化や、他社から学び継続的改善をおこなっていることは、強みの一つです。
味の素 [2802]	食・ヘルスケア	日本の昆布だから抽出した「うま味」を発見。世界の食文化に合わせた、調味料や加工・冷凍食品、飲料などを提供しています。2050年の世界人口90億人時代を見据え、東南アジア、中南米、アフリカで販売ネットワークを構築、ネスレ、ユニリーバ、ダノンを追いかけています。
クボタ [6326]	環境インフラ	長期的に世界の食糧需要が増加するなか、世界の競合企業に比べて、水田用、中小型の農機具で高い競争力を持っています。今後は、特にアジアでの成長が期待されます。
ヤマトホールディングス [9064]	新ライフスタイル	「クロネコヤマトの宅急便」で親しまれる宅配便業界のトップ。大型物流拠点を構築、電子商取引業者からの需要、B2B(企業間)の物流需要の取り込みなど総合物流企業へと変貌していきます。国内の当日配送エリアは拡大の方向、アジアへの生鮮食品の輸出増加なども期待されます。
旭化成 [3407]	新素材	化学繊維事業から医薬・エレクトロニクス事業へ事業構成の転換により、収益性の向上を目指しています。先進的な開発に取り組む文化を持っており、人工腎臓やリチウム二次電池用セパレーターなどは世界トップクラスです。
SMC [6273]	精密・電子	工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップです。フェスト(独)との世界2強で、新興国メーカーを寄せ付けません。自動車、電機、機械向けから、医療および食品関連でも成長しています。
シスメックス [6869]	食・ヘルスケア	血液検査機器では、国内第1位、世界第9位、特に血球計数分野では世界No.1の実力を誇ります。更に、赤血球分析から、免疫、DNAへ、大学、研究所、病院を顧客に急発展し、サステナブル企業として成長を続けています。
日東电工 [6988]	新素材	成長が期待される環境や医療向けなどに事業領域を柔軟に変化させながら、固有の技術をベースに、シートやフィルムに付加価値を加えた製品で成長しています。それぞれの地域ごとに品質や価格を調整し、シェアの獲得を目指しています。
ダイキン [6367]	環境インフラ	世界に誇る日本の省エネ技術、強い販売力、優れた商品力が競争力の源泉であり、アフターケアとメンテナンスを絡めた総合力も抜群です。
楽天 [4755]	Eコミュニケーション	社内公用語の英語化、海外企業買収など、成長に向けた強い意欲が際立ちます。社員による店舗サポートが強みで、理念の共有、教育等の人的資産投資を積極的に行ってています。

新規組入投資先

なし。

シニアアナリスト・上野の「今月のピック！」

株式市場では、2013年9月期（中間）の決算発表がピークを迎えていました。増益か減益かにもよりますが、発表後の株価が上がった場合は、「市場予想を上回った」、株価が下がった場合には「市場予想を下回った」とみられることが多いです。

コモンズ30銘柄では、想定以上の好決算を発表した旭化成、通期の営業利益の減益幅が広がる見通しを発表したベネッセHDなどの翌日の株価が上昇しています。

今回の決算発表では、中長期的な利益成長力をみるために、各社のコア事業以外からの利益の創出力に注目しています。旭化成は、収益柱の住宅事業でなく、医薬・医療事業や、スマホ向け電子コンパスなどエレクトロニクス事業の利益が予想以上に伸びることが増額修正の要因となっています。

ベネッセHDは、主力の国内教育事業で学習塾との競争が激しくなっていますが、シニア・介護事業は、今期営業利益が3割近く伸びる見込みで、全体に占める利益構成も2割弱まで高まる見通しです。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

投資先の主なニュース

日付	銘柄名	ニュース
10月21日	ローソン	2014年度末までに、カツサンド等を店内で調理する「まちかど厨房」を現在の3倍強の5千店に広げると発表。できたてを集客の目玉に据え、ファストフード店等から客を取り込む方針です。
10月24日	堀場製作所	中国の清華大学と提携し、大気や水質の汚染を防ぐための環境技術を共同開発するとの記事が掲載されています。
10月24日	エア・ウォーター	長野県内でグループ事業を更に多角化、このほど大町市で飲料水工場を本格稼働。1994年以降、県内で15事業を展開し、1000人強を雇用するなど、存在感を増し続けています。
10月28日	シスメックス	国立がん研究センターとがん診断薬の共同開発で包括提携したと発表。抗がん剤の効き目や副作用を予測する診断薬「バイオマーカー」の製品化を目指しています。
10月29日	東京エレクトロン	2014年3月期の半期決算を発表しました。また先日発表した米アプライドマテリアルズとの経営統合について、時期の前倒しに意欲を示しました。
10月30日	資生堂	インドネシア大手財閥と合弁会社設立、同国化粧品市場を開拓。価格を抑えたブランドを売り出し幅広く中間層をつかむ戦略で、東南アジアの最大市場インドネシアでシェアを拡大します。

メディアに登場！

日付	掲載メディア	内 容
10月4日	日経CNBC	「前場NOW」に渋澤が出演いたしました。
10月6日	日本経済新聞電子版	渋澤のコラム「世界が期待 日本の新たな「第3の矢」が掲載されました。
10月11日	日刊工業新聞	「存在感増す直販投信会社」に伊井のインタビューが掲載されました。
10月20日	日経ヴェリタス	「人生5050いろいろ」のコーナーに糸島が取材協力を行った記事が掲載されました。
10月21日	日経CNBC	「ヴェリタストーク」に渋澤が出演いたしました。
10月21日	日経マネー	日経マネー12月号に「NISAそれともDC?」という記事で渋澤の対談が掲載されました。
10月24日	日本経済新聞	「長期投資、動き始めた運用のプロ」に糸島が取り上げられました。
10月26日	テレビ東京	テレビ東京「マネーの羅針盤(12:05~)」に糸島が出演いたしました。

今月のSEEDCap情報「社会を良くする活動と一緒に応援しましょう！」



SEEDCapコーナー第2弾目は、去る10月5日に開催したコモンズ社会起業家フォーラムにてご登壇いただきました社会起業家の方の中から、3Keysの森山薦恵さまの活動をご紹介します。日本の子どもの7人に1人が貧困状態に陥っているといわれている中で、3keysは子どもたちへの直接支援として、経済的な理由などで学校で落ちこぼれてしまった後の手立て・支援がない子どもたちへの学習支援の提供をしています。主に児童養護施設などで暮らしている子どもたちが対象となっています。また、森山さんご自身は現場から見える現状を講演・執筆を通じて発信しています。

子どもたちを取り巻く問題について学ぶ様々なイベントも開催する中で、11月9日(土)には「次世代育成のための『働き方』と『企業のあり方』」と題したセミナーを予定しています。詳細はこちらをご覧ください。 http://3keys.jp/cat_events/cis3/

セミナーでコモンズを体験しませんか！？

セミナー名	日付	時間	場所
はじめてのコモンズ	11月 7日(木)	13:00～15:00	コモンズ投信オフィス
	11月 27日(水)	19:00～21:00	
くつろぎBAR	11月 20日(水)	18:00～20:00	コモンズ投信オフィス
コモンズ30投資先企業から学ぶ「女性活躍セミナー」	12月 4日(水)	19:00～21:00	東京都千代田区

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターからお願ひいたします。

<http://www.commonst30.jp/seminar/schedule> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時～午後5時受付)

マーケティング部から「今月のコモンズは！」



スポーツと食欲の秋。コモンズ・渋澤とセゾン投信・中野さん、レオス・藤野さんで行っている草食投資隊セミナーでは千葉の生産者連合デコポンを訪問しました。井尻代表の農業に対する熱い想いをお聞きし、畑で有機農作物の収穫に汗を流した後、名物イチジク料理を満喫しました。運動と食事の後は、草食投資隊の長期積立投資に対する熱い想い一杯のセミナーで締めくくりました。

10月はまた、コモンズのメディア登場が相次ぎました。運用部長・糸島は24日の日経新聞1面の「金融ニッポン～長期投資、動き始めた運用のプロ」や26日のテレビ東京「マネーの羅針盤」に登場。特に日経をご覧になった方は多かったようで、翌日の資料請求は記録的な件数でした！今年も残すことあと2ヶ月弱。コモンズでは色々な企画を考えています。どうぞご期待下さい。

10/26(土)放送「マネーの羅針盤」
(毎週土曜12:05～)出演者との記念写真

マーケティング部長 中澤 泰彦

お客様の声

セミナー参加者からのコモンズへいただいたメッセージをご紹介いたします。

今回は10/5(土)に開催された「第5回コモンズ社会起業家フォーラム」に参加者されたお客様の声です。



お客様
男性・東京都

各々の方々の生き立ち、苦悩それらが原動力になっていて、そのためになされている事業への信頼感を強く持つことができました。すぐ目の前で頑張っていらっしゃる方々と直接お会いできてとても刺激を受けました。



お客様
男性・東京都

意義のある活動をなさっている社会起業家を紹介してくださいます。ありがとうございます。支援する団体を考える上で参考になります。



お客様
男性・千葉県

設備を使わないシンプルなプレゼンが分かりやすかったです。教育、金融など様々な分野の話を聞けたのがよかったです。

お客様のデータ

(2013年10月31日付)

顧客数	3,820人 (+67人)
うち積立	2,542人 (+29人)

()内は前月比

口座数と純資産総額の推移



コモンズ流投資判断

「投資委員会と運用部」

- 新規組入投資先と全売却投資先の決定は、投資委員会での全員一致が原則
- 30%を超える現金比率についても、投資委員会で判断
- メンバーと役割は以下の通り

伊井 哲朗	代表取締役社長 最高運用責任者	・投資委員会議長
渋澤 健	取締役会長	・非財務的な企業価値を含む経営の視点
糸島 孝俊	運用部長 チーフポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案 ・組入先ウェイトのリバランス(1%~5%) ・現金比率の決定(30%以下の場合)
上野 武昭	運用部 シニアアナリスト	・新規組入・全売却の投資委員会への提案

「投資先選びのプロセス」



未来コンセプトについて

当ファンド独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

コモンズ流未来コンセプト10				
商業・資源	環境インフラ	代替エネルギー	新素材	未来移動体
精密・電子	食・ヘルスケア	新ライフスタイル	E-コミュニケーション	教育・娯楽

コモンズ30ファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受けた場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年 1.2075% (消費税込) を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、運用実績における基準価額は、信託報酬控除後のものです。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の 0.105% (消費税込) を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

コモンズ30ファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客様（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客様（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	平成21年1月19日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることができます。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先

■コールセンター（受付時間／平日 9時～17時）
03-3221-8730

■メール
commons-call@commons30.jp

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さんに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘のために作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第 2061 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階